

〔総務課長〕 申請用紙を対象世帯に発送した。既に設置している方や住んでいない方が96人、回答のなかった人が89人いた。設置は義務であり今後も周知に努める。

教育費

中高生の国際交流

〔横山委員〕 平成30年度もオーストラリアを短期海外留学先とした理由は。
〔教育次長〕 英語圏で時差が少なく、親日家が多く治安も良いためである。

〔横山委員〕 白鷹町は、東京オリンピック中国ソフトボールチームのホストタウン。両方の事業から中国との交流を深めることも可能だったのではないか。
〔町長〕 先般、ティーボールによる子どもた



魅力ある白鷹学講座に

ちの交流を行い今後についても話はしているが、まだ具体的ではない。いずれは中国語圏との効果ある交流をと考えている。

魅力ある白鷹町のために

〔金田委員〕 白鷹学講座の事業内容と実績は。
〔教育次長〕 食育関係講座1回、モチベーション講座1回、トークショー付き映画3回で、延べ600人が参加した。

〔金田委員〕 今後は、どのように考えているか。

〔教育次長〕 ここ数年、企画委員の確保が困難な状況であるが、幅広い年齢層に参加いただける魅力あるプログラム、周知、工夫が必要である。

特別会計

国保特別会計

医療費の改善に向け

〔奥山委員〕 がん検診の受診率が下がっている。早期発見により、

国保の保険料が低くなることも考えられるが。

〔副町長〕 白鷹町の特定検診の受診率は50%を超えているが、より高めることで、医療費や国保会計の改善につながる。健康福祉課や町立病院と連携しながら、全体的な医療体制として考える必要がある。

交付額が増加

〔奥山委員〕 保険者努力支援制度による交付額が平成29年度より増えている。今後の対応は。

〔町民課長〕 30年度の交付額は約647万円で、29年度と比較し、325万円の増であった。30年度は、地域包括ケア推進の取り組みにより加点された。今後は、各指標で満遍なく加点を得ていけるよう、健康福祉課等と連携し取り組んでいく。

介護保険特別会計

サロン事業の活用

〔竹田委員〕 ふれあいいきサロンの活動状況等は

〔健康福祉課長〕 ふれあいサロン事業は32地区、延べ6277人が参加した。元気クラブサロンは新規3団体（地区）、既存1団体（地区）に支援している。健康づくりサロンは延べ306人が活用した。

〔竹田委員〕 今後の活動の見通しは。

〔健康福祉課長〕 高齢化が進み、いかに健康で生活できるかが大事。身近な地域での支え合いが必要。公的サービスで補い切れない部分もあり、サロン事業は重要である。活動が増えるよう働きかけていく。
〔町長〕 課題も多い。運

営者も高齢化。特に男性の参加を、どううまく呼びかけていくかが大切。大いにバックアップしていきたい。

男性限定予防教室

〔笹原委員〕 男性限定介護予防教室の実績は。
〔健康福祉課長〕 登録者17人、年14回開催し、延べ146人が参加した。今後も伸ばせるよう努力していく。



笑顔が元気のはじまり